

注3

大学番号：私406

[平成23年度設置]

計画の区分：大学院の通信教育の開設

注1

認可

明治国際医療大学大学院 鍼灸学研究科 鍼灸学専攻（通信教育課程）

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 明治東洋医学院
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課企画広報
職名・氏名	カカリチョウ 係長 ワタナベ 渡辺 ヒロキ 博樹
電話番号	0771-72-1231
（夜間）	0771-72-1231
F A X	0771-72-1040
e-mail	sec_plan@meiji-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学院等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	7
4. 既設大学等の状況	8
5. 教員組織の状況	9
6. 留意事項に対する履行状況等	13
7. その他全般的事項	14

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 明治東洋医学院

(2) 大学名

明治国際医療大学大学院

(3) 大学の位置

〒629-0392
京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ナカガワ マサオ) 中川 雅夫 (平成22年5月23日)		
学長	(ナカガワ マサオ) 中川 雅夫 (平成18年4月1日)		
研究科長	(ヤノ タダシ) 矢野 忠 (平成20年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)
平成23年度に報告する内容 → (23)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画		備考	
	修業年限	入学定員		収容定員
鍼灸学研究科 鍼灸学専攻 (通信教育課程) 修士(鍼灸学)	2年	16人	32人	基礎となる学部等 鍼灸学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成23年度	平成24年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	16人 () []	—人 () []	人	人	1.63倍	
志願者数	34 (—) [—]	— (—) [—]	() []	() []		
受験者数	34 (—) [—]	— (—) [—]	() []	() []		
合格者数	26 (—) [—]	— (—) [—]	() []	() []		
B 入学者数	26 (—) [—]	— (—) [—]	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.63					

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[—] 26	[—] —	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	
計	[—] 26		[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [-] 0	(累積)計 [-] 26	0%
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 26人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜鍼灸学研究科鍼灸学専攻（通信教育課程）修士課程＞

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	統合医療学特論Ⅰ	1前	2									
	統合医療学特論Ⅱ	1後	2									
	最新鍼灸医学特論	1前	1			2		1				
	学際領域鍼灸医学特論	1前	1									
	基礎鍼灸医学特論	1通	4			3	2	1				
	臨床鍼灸医学特論	1通	4			3	1	3				
	実験研究法	1通	2			1						
	小計（7科目）	—	16			6	3	4	0	0		
専門科目	伝統鍼灸学研究法	1通		2		1	1	1				
	鍼灸基礎医学研究法	1通		2		2	1	1				
	鍼灸臨床医学研究法	1通		2		2		4				
	ヘルスインス鍼灸学研究法	1通		2		1	1					
	伝統鍼灸学演習	1・2通		4		1	1	1				
	鍼灸基礎医学演習	1・2通		4		2	1	1				
	鍼灸臨床医学演習	1・2通		4		2		4				
	ヘルスインス鍼灸学演習	1・2通		4		1	1					
	特別研究	1～2	8			6	3	6				
小計（9科目）	—	8	24	0	6	3	6	0	0			
合計	—	24	24	0	6	3	6	0	0			

- （注）・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「（1）授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「（3）未開講科目」欄には記載する必要はありません。）

（2）授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
8科目	24科目	科目	32科目	8科目	24科目	科目	32科目	変更なし
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- （注）・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	校舎敷地	11,661㎡	— ㎡	— ㎡	11,661㎡					
	運動場用地	30,135㎡	— ㎡	— ㎡	30,135㎡					
	小 計	41,796㎡	— ㎡	— ㎡	41,796㎡					
	そ の 他	136,360㎡	— ㎡	— ㎡	136,360㎡					
	合 計	178,156㎡	— ㎡	— ㎡	178,156㎡					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	19,804㎡ (19,804㎡)	— ㎡ (— ㎡)	— ㎡ (— ㎡)	19,804㎡ (19,804㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 情報処理施設の内1室 は語学学習施設の機能 を有している				
	30室	6室	17室	2室 (補助職員 3人)	1室 (補助職員 3人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数						
	鍼灸学研究科鍼灸学専攻（通信教育課程）			13 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	申請研究科全体 大学全体での共用分 図書等25,893冊 26,409		
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕							
	鍼灸学研究科 鍼灸学専攻 （通信教育課 程）	42,861〔10,902〕 41,477〔10,731〕 42,861〔10,902〕 (41,477〔10,731〕)	172〔57〕 178〔60〕 172〔57〕 (178〔60〕)	19〔19〕 16〔16〕 19〔19〕 (16〔16〕)	1,490 1,461 1,490 (1,461)	101 107 (101) (107)	(0)			
	計	42,861〔10,902〕 41,477〔10,731〕 42,861〔10,902〕 (41,477〔10,731〕)	172〔57〕 178〔60〕 172〔57〕 (178〔60〕)	19〔19〕 16〔16〕 19〔19〕 (16〔16〕)	1,490 1,461 1,490 (1,461)	101 107 (101) (107)	(0)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	465㎡		94席		70,000冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	3,852㎡		体育館には、柔道場（253畳）、トレーニングルーム含む。 陸上競技場 25,116㎡ テニスコート 3,524㎡ ゴルフ練習場 1,495㎡ クラブ部室 396㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体の研究費を見直したため減額となった。		
		千円 348 教授436 288 准教授335 248 講師282 218 助教239	千円 348 教授436 288 准教授335 248 講師282 218 助教239	図書購入費	1,000千円	345千円	345千円			
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	共同研究費等	1,300 800千円	2,100 1,600千円	設備購入費	31,500千円		—	—
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	1,200千円	900千円	—	—	—	—	—			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金等								

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	明治国際医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
鍼灸学部 鍼灸学科	4年	100人	一年次一人	400人	学士（鍼灸学）	0.59倍	昭和58	京都府南丹市日吉町保野田ヒノ谷6番地1	
保健医療学部 柔道整復学科	4年	60人	3年次2人	244人	学士（柔道整復学）	0.58倍	平成16		
看護学部 看護学科	4年	60人	3年次10人	260人	学士（看護学）	1.03倍	平成18		
鍼灸学研究科 鍼灸学専攻 修士課程	2年	8人	一年次一人	24人	修士（鍼灸学）	1.13倍	平成3		H23定員減
鍼灸学研究科 臨床鍼灸学専攻 修士課程	2年	8人	一年次一人	8人	修士（臨床鍼灸学）	0.75倍	平成23		H23新設
鍼灸学研究科 鍼灸学専攻 博士後期課程	3年	4人	一年次一人	12人	博士（鍼灸学）	0.58倍	平成6		
専門学校の名	明治東洋医学院専門学校								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
第1鍼灸学科 I部（午前）	3年	60人	一年次一人	180人	専門士	0.64倍	昭和34	大阪府吹田市西御旅町7-53	
第1鍼灸学科 II部（午後）	3年	60人	一年次一人	180人	専門士	0.69倍	〃		
第2鍼灸学科	3年	60人	一年次一人	180人	専門士	0.53倍	〃		
第1柔整学科	3年	60人	一年次一人	180人	専門士	0.87倍	〃		
第2柔整学科	3年	60人	一年次一人	180人	専門士	0.55倍	〃		
教員養成学科	2年	25人	一年次一人	50人	専門士	0.42倍			

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<鍼灸学研究科 鍼灸学専攻（通信教育課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	川喜田 健司	平成23年4月	最新鍼灸医学特論※ 基礎鍼灸医学特論※ 実験研究法※ 鍼灸基礎医学研究法 鍼灸基礎医学演習 特別研究						
専	教授	角谷 英治	平成23年4月	最新鍼灸医学特論※ 基礎鍼灸医学特論※ 鍼灸基礎医学研究法 鍼灸基礎医学演習 特別研究						
専	教授	篠原 昭二	平成23年4月	基礎鍼灸医学特論※ 伝統鍼灸学研究法 伝統鍼灸学演習 特別研究						
専	教授	石崎 直人	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習 特別研究						
専	教授	北小路 博司	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習 特別研究						
専	教授	片山 憲史	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ ヘルシイ鍼灸学研究法 ヘルシイ鍼灸学演習 特別研究						
専	准教授	林 知也	平成23年4月	基礎鍼灸医学特論※ 鍼灸基礎医学研究法 鍼灸基礎医学演習 特別研究						
専	准教授	和辻 直	平成23年4月	基礎鍼灸医学特論※ 伝統鍼灸学研究法 伝統鍼灸学演習						
専	准教授	江川 雅人	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ ヘルシイ鍼灸学研究法 ヘルシイ鍼灸学演習 特別研究	専	教授	江川 雅人	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ ヘルシイ鍼灸学研究法 ヘルシイ鍼灸学演習 特別研究	平成23年6月変更書提出予定 (23)
専	講師	新原 寿志	平成23年4月	最新鍼灸医学特論※ 基礎鍼灸医学特論※ 鍼灸基礎医学研究法 鍼灸基礎医学演習 特別研究						
専	講師	斉藤 宗則	平成23年4月	伝統鍼灸学研究法 伝統鍼灸学演習 特別研究						
専	講師	鈴木 雅雄	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習 特別研究	専	准教授	鈴木 雅雄	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習 特別研究	平成23年6月変更書提出予定 (23)
専	講師	伊藤 和憲	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習 特別研究	専	准教授	伊藤 和憲	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習 特別研究	平成23年6月変更書提出予定 (23)
専	講師	井上 基浩	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習 特別研究	専	准教授	井上 基浩	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習 特別研究	平成23年6月変更書提出予定 (23)
専	講師	本城 久司	平成23年4月	鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習 特別研究						
兼任	教授	今西 二郎	平成23年4月	統合医療学特論 I						
兼任	教授	中山 登稔	平成23年4月	最新鍼灸医学特論※						
兼任	教授	梅田 雅宏	平成23年4月	学際領域鍼灸医学特論※						
兼任	教授	熊本 賢三	平成23年4月	基礎鍼灸医学特論※ 鍼灸基礎医学研究法 鍼灸基礎医学演習						

兼担	教授	山村 義治	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習						
兼担	教授	苗村 健治	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※						
兼担	教授	金井 恵理	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※						
兼担	教授	糸井 恵	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習						
兼担	教授	糸井 啓純	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※						
兼担	教授	樋口 敏宏	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習						
兼担	教授	中尾 昌宏	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習						
兼担	教授	智原 栄一	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習						
兼担	教授 (研究科 長)	矢野 忠	平成23年4月	学際領域鍼灸医学特論※ ヘルスインス鍼灸学研究法 ヘルスインス鍼灸学演習						
兼担	准教授	渡辺 勝之	平成23年4月	統合医療学特論Ⅱ 学際領域鍼灸医学特論※						
兼担	准教授	岡田 薫	平成23年4月	最新鍼灸医学特論※						
兼担	准教授	岩 昌宏	平成23年4月	学際領域鍼灸医学特論※ 臨床鍼灸医学特論※ ヘルスインス鍼灸学研究法						
兼担	准教授	廣 正基	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ ヘルスインス鍼灸学研究法 ヘルスインス鍼灸学演習						
兼担	准教授	榎原 智美	平成23年4月	基礎鍼灸医学特論※ 鍼灸基礎医学研究法 鍼灸基礎医学演習						
兼担	准教授	渡邊 マナミ 〔糸井マナミ〕	平成23年4月	基礎鍼灸医学特論※ 鍼灸基礎医学研究法 鍼灸基礎医学演習 特別研究						
兼担	准教授	福田 文彦	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習 特別研究						
兼担	准教授	越智 秀樹	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習						
兼担	准教授	今井 賢治	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習	兼担	教授	今井 賢治	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 鍼灸臨床医学研究法 鍼灸臨床医学演習	平成23年4月から昇任 (23)
兼担	講師	塚本 紀之	平成23年4月	基礎鍼灸医学特論※ 鍼灸基礎医学研究法 鍼灸基礎医学演習						
兼担	講師	鶴 浩幸	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※						
兼担	講師	高橋 則人	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※ 実験研究法※ ヘルスインス鍼灸学研究法						
兼担	助教	谷口 博志	平成23年4月	最新鍼灸医学特論※						
兼担	助教	竹田 太郎	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※	兼担	講師	竹田 太郎	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※	平成23年4月から昇任 (23)
兼担	助教	田口 玲奈	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※						
兼担	助教	木村 啓作	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※						
兼担	助教	太田 喜穂子	平成23年4月	臨床鍼灸医学特論※						

(注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、

及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

また、「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

- ・ 専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

（２）専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
9	6	15	0	9	6	15	0	変更なし
[9]	[6]	[15]	[0]	[9]	[6]	[15]	[0]	

（注）・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成22年10月)	1. 学生がポータルシステム等を効果的に使用できるよう、相談窓口や支援体制を充実させること。その際、使用方法に関するガイダンスの実施や学生アンケート実施により、より効果的な改善となるよう努めること。	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前に入学予定者を集めて情報通信機器（ポータルサイト）に関する事前説明会を実施し質疑応答を行った。 ・入学式のオリエンテーション時に改めて情報通信機器（ポータルサイト）に関する説明会を実施した。 ・ポータルサイト上にアンケート機能や電子掲示板の機能を設け支援体制を充実させている。 	
	(その他の意見) 添削レポートと試験レポートを課すことになっているが、両レポートの提出時期が混在しないよう、添削レポートの評価・返却を行った上で試験レポートを実施できるようスケジュール管理を工夫することが望ましい。	添削レポートは年4回の提出期日を定め、試験レポートの実施日までに添削を終えるようにする。 また、添削レポートに合格した者のみがスクーリング時に行う試験レポート（ペーパー試験）を実施できるようなスケジュールを組んでいる。	

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<鍼灸学研究科 鍼灸学専攻（通信教育課程）>

（1）設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 明治国際医療大学ファカルティ・ディベロップメント委員会 委員会規程は別途添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員会の組織は、各学部を選任の教員の中から選ばれた者各2名、医学教育研究センターの専任の教員の中から選ばれた者若干名、専任の事務職員の中から選ばれた者2名、その他学長が必要と認める者で校正で構成されている。平成22年度は5回開催。</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD推進のための企画、立案、実施及び調整等に関すること FDに関する報告書等の作成に関すること その他FDの推進に関すること</p> <p>② FD活動実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD小委員会 FD活動をより実践していく為に、FD委員会の下に「FD研修少委員会」及び「授業アンケート・授業改善小委員会」を組織している。 ・ 授業評価アンケートは「授業アンケート・授業改善小委員会」において企画し実施しており、前後期の授業終了時に全学生に対して実施しており、アンケートの集計結果は学内のホームページにて周知報告している。 また、平成22年度は授業改善のために各科目の教育内容や方法、他科目との関連等について、担当教員の意見を確認する為に教員による授業アンケートを実施し報告会を行った。 ・ 「FD研修小委員会」においては、FD研修会の企画や「ニュースレター」の発行（年3～4回）を行っている。 FD研修会は年3～4回実施しており昨年の開催テーマは次のとおりである。 (1)「なぜ、今、初年次教育なのか？」（学外講師による講演） (2)「ハラスメントのない環境づくり；平素の心構え」（学外講師による講演） (3)「統合医療を理解する」（学内講師による講演及び参加者によるグループディスカッション）
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻の設置の趣旨・目的は、鍼灸医学研究に必要な研究能力を有する人材養成を行うとともに、我が国及び世界の鍼灸医学の科学的な研究基盤の拡大と進展への寄与並びに社会に貢献することである。

初年度である平成23年度入試においては、本学卒業生を初め、業界紙やホームページ等を通じ、積極的にPR活動を行った結果、多くの鍼灸師の関心を得ることができ、定員を上回る入学者により順調なスタートが切れたといえる。

現在、本趣旨・目的を実現すべく、鍼灸医学の科学的な発展と国民の健康保持・増進、疾病の予防及び治療に貢献できる鍼灸医学に関する専門的知識と基本的な研究能力を持つ人材の養成を推し進めるべく、教職員一丸となって教育研究活動に取り組んでいる。

a 教育環境の整備状況

- ・長期履修学生制度

実務に就きながら大学院教育が受けられる通信教育課程として、3年制コース、4年制コースの長期履修学生制度を設け、職業等を有している者に配慮している。

平成23年度入学者26名の内、3年制コースに9名、4年制コースに4名、計13名が本制度を利用している。

b 入学者選抜の実施状況

- ・開設年度（平成23）は、入学定員16名の2.1倍にあたる34名の出願者があった。この結果は、リカレント教育、生涯教育として位置づけた本課程が、鍼灸臨床あるいは鍼灸教育に従事する社会人を受け入れるとした開設の趣旨・目的に合致したことを証明するものであると考えている。

- ・平成23年度入学者選抜試験において、有為な受験生が多数いたことにより、受験者34名に対し、試験結果を鑑み、定員16名に対し、26名の合格とした。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成24年度中に公表する方向で学内で検討中

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成20年度に財団法人日本高等教育評価機構が実施する大学機関別認証評価を受審し認証された。（平成20年4月～平成27年3月）

- ・次回平成27年3月までに評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年5月16日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.meiji-u.ac.jp/daigaku/public/>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。